



# 学校だより

横浜市立釜利谷中学校

発行日 2020年2月12日(水)

発行者 学校長 栗田智則

所在地 金沢区釜利谷南3-5-1

電話 784-7311 FAX 783-9762

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamariya/>

## 「今から」

校長 栗田智則

正門横には淡い白の梅花が一輪また一輪と咲き始めました。立春を過ぎても寒暖差のある日は続きます。新型コロナウイルス感染症についてWHO(世界保健機関)はパンデミック(世界的大流行)と判断していないとの報道がありました。3年生は高校選抜試験、1,2年生は学年末テストがあり大切な時期です。引き続き、しっかりと手洗いすることやうがいすること、マスク着用、部屋の換気、そして睡眠や食事等に十分注意をしながら、体調管理に気をつけて過ごしていきたいものです。



巨人軍終身名誉監督である長嶋茂雄氏や今季西武ライオンズに復帰した松坂大輔投手が大切にしている言葉の中に、大正・昭和期の社会教育家である後藤静香<sup>せいこう</sup>さんが残したものがあそうです。そのひとつが次のような詩です。

### 「本気」

本気ですれば	たいていな事はできる
本気ですれば	なんでも面白い
本気でしていると	だれかが助けてくれる
人間を幸福にするために	本気ではたらいっているものは
みんな幸福で	みんなえらい

「権威」より

学校生活や学校行事、部活動、勉強でも、人が「本気」で行動している姿は美しく、かっこよく、周囲の人々の心を動かします。「本気」に行動することができれば、きっと今までとは違う自分を発見することができると思います。一方、本気で行動することに戸惑ったりブレーキがかかったりする要因も人の心の中には存在すると思います。それは“自信がない”“今さらやっても”“無理”“恥ずかしい”など心の中にある少しの弱い気持ちが誰にでもあるからなのかもしれません。こんな記事を新聞で読みました。『ことばのご馳走』(金平敬之助著)という本にある文だそうです。

「今まで(中略)突破したことがない。それに年である。今さら……」と言う人がいる。私は、なんでもったいない、と考える。過去にできなかったからといって、なぜ今度もできないというのだろうか。『今さら』の「き」を「か」に変えて『今から』挑戦しよう!になぜ変えないのか

生徒の皆さんにとっては、年度のまとめの時期となります。これまでの自分の生活や学習を振り返り、できなかったことで自信を無くしたりを悔やんだりするよりも、「今から」できること・できそうなことを再発見して、新たな取組・挑戦を開始してほしいと願っています。そして、ひとつでも「本気」で取り組めるものがあるならば、それは本当に素晴らしいことだと思います。

釜利谷中学校でも、昨年末、学校評価としてアンケートを実施しました。お忙しい中、ご協力をいただきました皆さまに改めて感謝申し上げます。結果は、次号の学校だよりに掲載いたします。

## ◇市合同学芸会に参加しました

個別支援級担任 長坂省吾 若佐恭子 山口芳典

1月30日(木)に、横浜市中学校個別支援学級の合同学芸会がありました。西公会堂で行われた学芸会では、各校に割り当てられた8分間で趣向を凝らした多くの出し物が披露されました。釜利谷中学校は『美・かくされた秘密』と題し、数多くのスライドと共に、ダンスや会場参加型のクイズを織り交ぜた創作劇を熱演しました。舞台では、台詞や動作の一つひとつ、クイズやダンスなど、練習してきたことすべてがうまくいき大成功でした。

場面は釜利谷中学校の修学旅行先、“フランス”の凱旋門前から始まります。ルーブル美術館でモナリザやミロのビーナスを見ているうちに、美しいものには秘密があるのかな?という疑問が生まれます。転校生のD君の「どこでもドア」でギリシャのパルテノン神殿も見学。それぞれの美しさにはすべて共通点が……。その謎を解き明かすのがモデュロールマン。モデュロールマンと共に美の秘密“黄金比”に迫る!というストーリーでした。クイズでは、会場の皆さんを引き込み、キレのあるダンスでは、会場全体から手拍子をいただき、最後に8組の全員が黄金比のイケメンに変身した場面では、会場中から大きな笑い声と拍手が沸き起こりました。

8組では、学芸会に向け10月から話し合いを始め、準備を進めてきました。学芸会を通して“美”の秘密はもちろんのこと、話し合い活動で意見を合わせていくことの大切さや、相手の良さを認め合う姿勢など、多くを学び成長しました。8組の生徒それぞれが自分の成長を実感することができたことも、学芸会の大きな成果だと思います。ここでの学びを今後の学校生活にも生かし、さらなる成長につなげていければと思います。

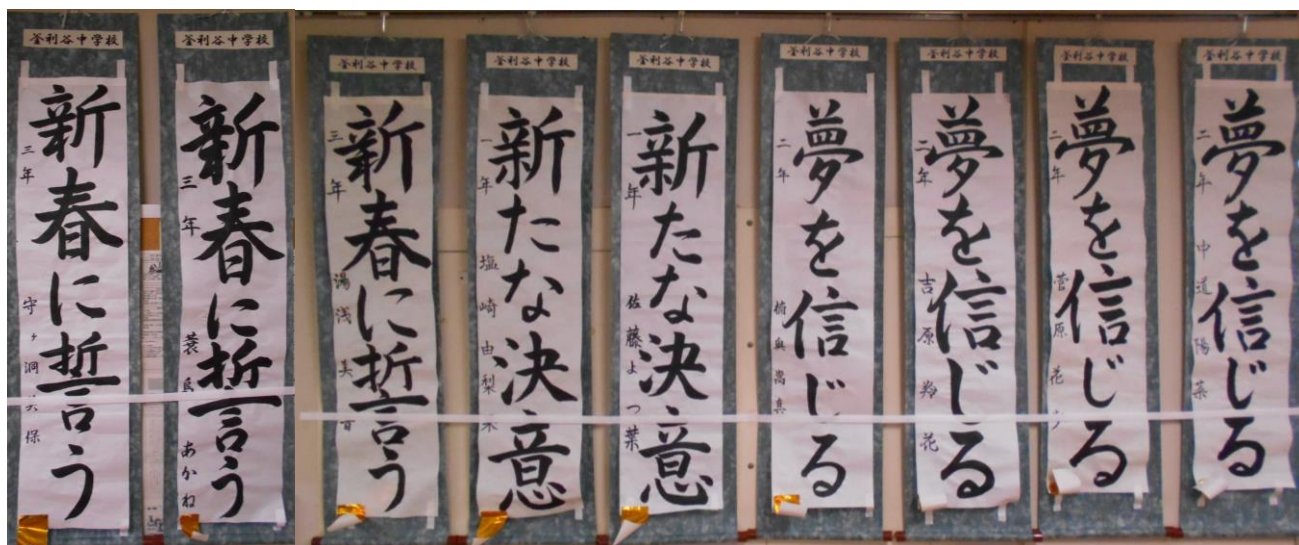
※モデュロール：フランスの建築家ル・コルビジエが考えた建築の基準となる寸法





### ◇書き初め

冬休みに全校生徒が取り組んだ書き初めが教室に展示されました。一人ひとりの決意が感じられるような力強い書ばかりです。金賞の作品が職員室前に展示されています。



### ◇釜利谷南小学校地域防災拠点 第2回震災対策訓練に参加しました

1月25日(土)釜利谷南小学校地域防災拠点の第2回震災対策訓練がありました。当日参加された地域の方々が一度釜利谷南小学校に集合して訓練した後、釜利谷中学校に移動してきてくださいました。本校の生徒会役員と男子バスケットボール部1年生がここから参加しました。

横浜市水道局がお知らせしている災害時給水マップにも掲出されているように、釜利谷中学校の地下に「災害用地下給水タンク」があり、地震等で周辺の水道管が破損するなどして蛇口から水が出なくなったときは、釜利谷南小学校の地域防災拠点が給水所を立ち上げる役割を担っております。水道局の方から「普段は水道管として使われ新鮮な水道水が流れています。災害時に水圧が下がると自動的に出入り口が閉まり、タンク内に飲み水を確保します。タンクには60立方メートルの水を貯めることができます。これは6000人が3日間生き延びることができる量です。」と説明されました。実際にマンホールを開け、ホースをつなぎ、蛇口をセットしてポンプを操作すると、勢いよく水が出てきました。組み立て訓練には、生徒会役員やバスケットボール部員が率先して参加させていただき、交代でポンプを操作しました。年に2回行われる震災対策訓練に、今後も釜利谷中学校の生徒が参加し続け「共助」の一翼を担えたら、素晴らしいことだと思います。

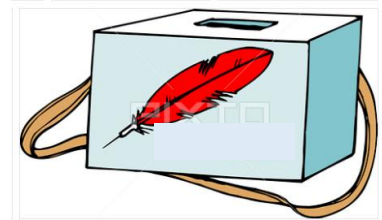
参加した生徒の皆さん、ありがとうございました。



## ◇赤い羽根共同募金

福祉委員会が、朝の登校時間に合わせて赤い羽根共同募金を実施しました。全学年の福祉委員が分担をして、1月20日～22日の3日間、昇降口前で登校してくる全校生徒に呼びかけました。

結果、総額で¥11,091が集まりました。この日のために、1円玉をコツコツと貯めて募金した2年生など多くの生徒の善意により、無事募金活動を終えることが出来ました。翌1月23日には、金沢区社会福祉協議会に納めました。子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や災害時支援に役立ててほしいと願っています。



## ◇横浜市立学校総合文化祭の作品展に出展しました。

1月29日(水)～2月3日(月)横浜市民ギャラリーにおいて開催された作品展に、本校生徒の作品が出展されました。日ごろの美術の授業で制作した作品の中から選抜されたものです。

<1年 アートしちゃう漢字>

8名

<2年 中庭にふれあいアートを創ろう>

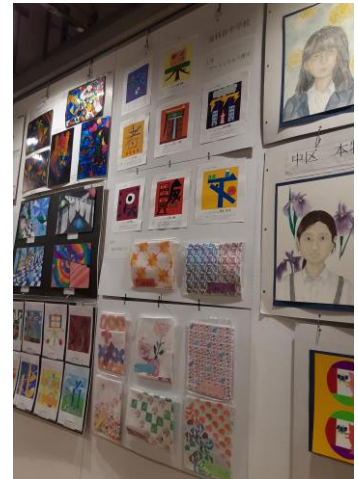
7名

<3年 和の手ぬぐい>

8名

<8組 ステンドランプ>

2名



## ◇ 2月～3月の主な行事予定

2月10日～13日	私立高校一般入試・発表
2月12日～14日	学年末試験
2月14日(金)	公立高校共通選抜学力検査 新入生保護者説明会
2月17日～18日	公立高校共通選抜特色検査・面接
2月20日(木)	1,2年生横浜市学力・学習状況調査
2月26日(水)	3年生卒業遠足
2月27日(木)	2年生進路説明会
2月28日(金)	公立高校合格発表
3月9日(月)	卒業式予行 3年生を送る会
3月11日(水)	第34回卒業証書授与式
3月16日(月)	1年生百人一首大会 2年生球技大会
3月17日(火)	2年生百人一首大会 1年生球技大会
3月18日(水)	1年生職業講話
3月25日(水)	修了式

